

City info.

2

遠野まちなか再開発プロジェクトが始動

市役所本庁舎、いよいよ着工！

中心市街地活性化の新たな拠点、市役所本庁舎の建設工事がスタート。国の認定を受けた、第2期中心市街地活性化基本計画の概要もお知らせします。
◎問い合わせ 市本庁舎建設室(☎62-2111内線232)

本庁舎整備と連動した計画もスタート！

第2期 遠野市中心市街地活性化基本計画(中活計画)

この計画は、市が今後5年間で取り組むまちなか再生の指針です。また、市総合計画や総合戦略などと連動させながら各種事業を展開します。



第2次遠野市総合計画

遠野スタイル 創造・発展 総合戦略

～将来像～ 永遠の日本のふるさと遠野

第2期中活計画

地方創生 加速化 交付金

～主な事業と目標値～

観光客が訪れる中心市街地

▷三田屋プロジェクト▷まちづくりポイントカード導入事業▷遠野駅舎周辺整備事業—など

観光施設入込数

64,726人(H26)⇒**100,000人**(H32)

人々が行き交う中心市街地

▷本庁舎整備事業▷子育て支援環境整備事業▷公営住宅等整備事業(穀町地区)▷まちづくり会社設立事業▷起業支援拠点整備事業—など

中心市街地通行量

3,145人(H26)⇒**4,262人**(H32)

生活が充実する中心市街地

▷ファサード改修費助成事業▷空き店舗家賃助成事業▷空き店舗改修費助成事業▷既存ストック活用調査事業▷健康づくり調査分析事業—など

新規出店数

7件(H24~26)⇒**12件**(H28~32)



1 遠野駅舎周辺整備事業

遠野駅舎の歴史と風情を生かしながら、駅舎と駅舎周辺の整備を進めます。



2 子育て支援環境整備事業

元気わらすっこセンター(本庁舎西館)を改修するなど、子育て支援エリアとして整備します。



3 公営住宅等整備事業

被災者が安心・安全な暮らしを送られるように、穀町の仮設住宅の公営住宅化を目指します。



4 三田屋プロジェクト

町屋の「三田屋」を高校生や大学生などと連携して調査・改修し、交流の拠点として再生します。

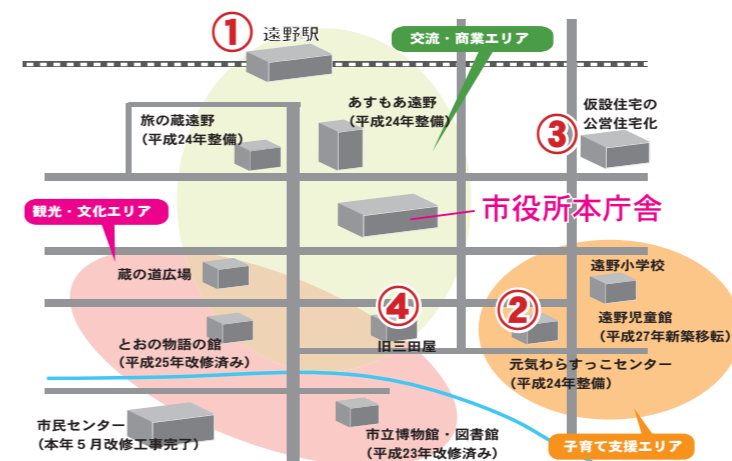
※番号は右の地図と連動します

まちなか再生への意見・提言は…市経営企画部まちづくり再生担当(☎62-2111内線232)まで！



1_市役所本庁舎の完成イメージ 2_工場の安全を祈願する関係者ら 3_建設予定地(南側からとびあ方面を見たもの)

◎中心市街地活性化のイメージ



◎市役所本庁舎建設の概要
構造…鉄筋コンクリート造(木質化)、地下1階、地上3階
延べ床面積…5,235平方メートル
総事業費…約30億円(うち建築工事費約18億円)
※震災復興特別交付税などの国の財政支援は19億円

中活計画の成功には、皆さんの協力が不可欠です。随時、まちなか再生のアイデアを募集していますので、ドンドンお寄せください。

中活計画には、「まちなかが元気になるれば、その活力が周囲に波及し、遠野全体が元気になる」という思いが込められています。計画に盛り込んでいる各種事業を積極的に活用し、元気なまちなかを一緒につくりましょう。

中活計画は、観光客が訪れ、人々が行き交い、生活が充実する中心市街地を目標に、約50の事業に取り組みます。期間は、本年度から平成32年度までの5年間。市総合計画や遠野スタイル創造・発展総合戦略、国の地方創生交付金を活用した生涯活躍のまちづくりとも連動させながら事業を展開します。

第1期中活計画(平成21~25年度)では、「あすもあ遠野」や「旅の蔵遠野」、「とおの物語の館」などの施設を整備。第2期中活計画では、さらに、市役所本庁舎、元気わらすっこセンター周辺、仮設住宅の公営住宅化といった新たなハード事業に着手します。これらの施設を活用しながら、ソフト事業にも取り組み、観光施設入込数、中心市街地通行量、新規出店数の数値目標(上記参照)の達成を目指します。

市役所本庁舎の整備と連動した計画も進んでいます。市は、市民らで構成する中心市街地活性化協議会や関係機関などと協議し、「第2期遠野市中心市街地活性化基本計画」(以下、中活計画)を策定。本年3月15日、内閣総理大臣の認定を受けました。認定されたことで各種事業に対する国からの財政支援も決定し、まちなか再生の第2ステージを開始させます。

中 心市街地活性化の中核となる市役所本庁舎の建設が、いよいよ始まりました。4月21日、建設工事安全祈願祭がとびあ南側の建設予定地で行われ、関係者や地域住民ら220人が出席。鉄入れや玉串奉納などを行い、工事の安全を祈願しました。建築工事費は約18億円で、松田建設・米組特定共同企業体が建設を担当。来年3月に完成する予定です。